

KEIZAI REN

情報 12

2022.12 NO.1299

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

市場と連携し、実需者への営業力強化による 販路開拓・拡大に取り組む東京事務所

Main topics

市場と連携し、実需者への営業力強化による
販路開拓・拡大に取り組む東京事務所 ……01

topics&news

いちご生産者所得向上を
静岡いちご販売対策会議 ……03
販売戦略を検討
令和4年度静岡レタス「うまレタ。」販売対策会議…03
農業用ICT機器を研修
スマート農業の現状と可能性について研修会を開催…03
県産花きをPR
県知事に花束を贈呈 ……04
県産花き販売戦略を検討
令和4年度静岡県花卉販売対策会議 ……04
スマート農業機械を展示・実演
JAスマート農業フェアを開催 ……05
JA営農経済職員が相互研鑽
営農経済事業パワーアップ大会 ……05
産地と市場の連携による販売力強化
令和4年度系統経済事業研究委員会・流通懇談会…06
産地の維持・強化と組合員の農業所得向上に向けて
営農経済センター長研修会を開催 ……06
令和4年の収穫に感謝を捧げる
草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納…06

最新研究紹介

ワサビー代雑種(F₁)品種「ふじみどり」の開発 ……07

お知らせ

建設部からのお知らせ ……09
あぐりんく静岡からのお知らせ ……09
農業機械課からのお知らせ ……10
テレビ番組で県産農産物をPR ……10



▲「良い花の日」にちなみ県知事に花束を贈呈



▲JAスマート農機フェア



市場と連携し、実需者への営業力強化による 販路開拓・拡大に取り組む東京事務所

I はじめに

本会は「J A 静岡経済連3か年計画」の基本目標として「農業の飛躍的な拡大」を掲げ、販売力強化に向けた効果的な取組と事業提案・支援に取り組んでいます。そこで、11月号から1月号の3回に分けて、みかん園芸部の事業取組について紹介していきますが、今月号では首都圏を中心に東日本地域に県産農産物を供給する本会東京事務所についてご紹介します。

II 東京事務所について

本会は東京都大田区にある大田市場内事務棟に東京事務所を設置し事業活動を行っています。東京事務所の販売金額は、本会みかん園芸部事業計画の60%を占めています(表1)。

表1.令和4年度みかん園芸部・東京事務所事業計画(百万円)

業 種	県 下	東 京
柑橘	14,480	9,000
落葉果樹	675	260
野菜	32,050	18,700
花き	6,000	4,200
合計	53,205	32,160

職員は令和4年12月現在12



写真1. 概況価格調査や情報収集

- 人(本会職員7人、県下J A 出向受け入れ2人、J A とびあ浜松東京駐在1人、臨時2人)で業務を行っています。管轄は関東甲信越・東北・北海道エリアの卸売会社です。
- ### 1. 業務内容
- (1)管内卸売会社に向けた主品目の分荷割付、販売価格の交渉・決定
 - (2)毎朝、京浜市場での概況・他産地出荷動向・着荷などの情報収集を行い、県下J A や関係先に情報発信
 - (3)週1回、主品目の販売状況や他産地の入荷量情報を県下J A 向け情報発信



大田市場で行われる東京青果でのトップセールス展示

III 取組について

- ### 1. 販売力強化
- (1)パートナー市場と連携した販売力強化
 - (2)京浜地区の青果8社、花き6社卸売会社とパートナーを組み、ヒアリング実施による事業方針、取扱計画・取組内容や生産資材コスト上昇の産地実態などの共有を図り、主品目の販売戦略、主要実需者別・品目別販売計画書を作成し具体的な販売戦術を実践しています。
 - (3)実需者への営業推進や直接販売(予約相対・買取)による販売力強化
 - (4)直接販売の拡大推進による価格形成強化や売場拡大のための消費宣伝企画の立案・実施
 - (5)東京で開催する販売会議の開催
 - (6)卸売会社への産地情報の発信と予約相対分の直接販売価格の調整や決定
 - (7)直接販売先への営業推進や情報交換



写真2. 新生活様式に対応した販促活動

成の強化に取り組んでいます。その取扱の中から鮮度・品質をアピールし輸送効率化や安定した売場確保を目的とした量販店や仲卸センターへの直送の推進を実施しています。

②首都圏エリアの青果業者に対し、本会特販課と連携し業務加工向け品目の取扱拡大に向けて推進しています。

③卸売会社や量販店など取扱先に営業を行う中で、実需者ニーズにおけるマーケットイン品目の情報交換を行い、県下JAと連携し生産販売拡大推進を行っています。また、販売チャネルの多様化が進む中、輸出・ECサイト・カタログ業者向けの取扱も拡大しています。

2. 消費宣伝・ブランド推進

①実需者との連携により、量販店でデジタルサイネージを設置しています。生産状況の紹介やテレビ動画による販売促進、販促員がリモートで複数店舗を対応するなど、



写真3. 県と連携したヤオコーでの静岡フェア「富士山しずおかマルシェ」

新生活様式に対応した販促活動に取り組んでいます（写真2）。

②県が認定する「しずおか食セレクション『頂』」品目の首都圏マーケティング事業を活用して、高品質な本県産青果物のブランド力や認知度の更なる向上に取り組んでいます（写真3）。

3. 他県との連携

①出荷リレーする品目は、安定出荷のため卸売会社に向けた予約の受け渡しや数量の調整を他県連と行っています。

②販売競争力強化を目的に、品質査定会（他県との合同含む）を開催し、本県産の品質状態を把握しています（写真4）。査定会の結果は高品質化や荷造り・選別平準化に向け県下JAへ情報を発信しています。

③主産県と情報交換を実施し、生産



写真4. 愛知経済連と連携した洋菜類査定会

販売における共通課題への取組と「国産消費」に向けた農産物消費拡大取組の実施。

4. 物流合理化と運送調整

①物流の課題に対応していくため、循環型レンタルパレット（※、写真5）の運用推進をはかり卸売会社での課題把握（写真6）や調整を行っています。

②運送面では、緊急時の取引先への運送で販売に支障が発生しないよう対応しています。

IV おわりに

今回のメイントピックスでは、東



写真5. 卸売会社での循環型レンタルパレット（※）取扱

※パレットの利用から回収まではレンタルでの運用を基本とし、共同利用の体制を構築、物流の効率化を目指す。併せてパレットのサイズや伝票などに記載する項目も標準化する。

京事務所の業務について紹介しました。県下の多彩な青果・花卉生産者の所得向上、持続可能で営農継続を実現できる販売強化・拡大、静岡県産農産物の価値を高める営業推進に取り組んでいます。

次号では、本格出荷を迎える「静岡いちご」の今シーズンの消費宣伝事業について紹介します。

問い合わせ先

●JA静岡経済連 東京事務所

〒143-0001

東京都大田区東海3丁目2番1号

電話…03-1549215321



写真6. 卸売会社とのレンタルパレット運用検討会

いちご生産者所得向上を 静岡いちご販売対策会議

11月15日、静岡県いちご協議会(事務局・野菜花卉課)は、県農業会館で、静岡いちご販売対策会議と目揃会を開催しました。県や卸売会社、JAの担当者ら約60人が参加し、本年度の出荷数量5千トン、販売金額70億円を目標とすることを確認しました。農業所得の向上をめざし、本県いちごの主力販売先と生産者らが販売戦略を共有し、より強固なパートナーシップを築き、予約相対販売などを拡大させていくことを併せて確認しました。

会議では、JA遠州夢咲とJAお



▲静岡県いちご協議会の飯田寿夫会長

おいがわの担当者から今シーズンの生育状況と出荷計画、卸売会社から消費地の動向などを報告しました。また、本会東京事務所の橋本真一係長が、静岡いちご販売取組の経過と令和4年度の戦略について説明し、静岡いちごのブランド力と認知度を高め有利販売のためにパートナー市場への集中出荷と市場と産地の協調を呼びかけました。

目揃会では、本格出荷の前に生産者やJA担当者らと出荷基準を確認しました。



▲目揃会で出荷基準を確認する担当者ら

販売戦略を検討 令和4年度静岡レタス 「うまレタ」販売対策会議

10月31日、静岡県レタス協議会(事務局・野菜花卉課)は、県農業会館で、令和4年度静岡レタス「うまレタ」販売対策会議を開きました。県や京浜地区市場関係者、生産者、JAの担当者ら約40人が参加しました。

会議では、販売情勢と産地情勢、販売戦略について報告した他、流通関係者との意見交換を行いました。

令和4年度産「うまレタ」販売対策では、パートナー市場への集中出荷、予約相対販売、量販店などの物流センターへの直送取組強化などに加え消費拡大に向けSNSの活用や異業種とのコラボ企画に取り組むことを報告。今年度の販売目標は、出荷数量12,500トン、販売金額30億円とすることを確認しました。「うまレタ」は同協議会が平成30年にブランド化した本県産レタスで、本会の登録商標です。



▲静岡県レタス協議会の太田篤武会長

農業用ICT機器を研修 スマート農業の現状と可能性 について研修会を開催

10月19日、営農資材課は農業用ICT機器を活用したスマート農業の現状と可能性について研修会を開き、JAや本会担当者ら約30人が参加しました。

研修会では、ハウス内環境モニターリング機器「はかる蔵(ぞう)」の機能と活用方法について、同機器を開発・販売するリバティポートジヤパン(株)の角裕二社長が説明しました。同機器は、ハウス内の気温、湿度、炭酸ガス濃度などをセンサーが測定し、データをパソコンやスマートフォンで、離れたところからリアルタイムに確認できます。また、野菜花卉課の渥美忠行コンサルタントから、県内いちご生産ハウスにおける同機器の取組事例を紹介しました。角社長は「はかる蔵は利用者の要望に応えアップリ機能をアップデートしている。モニターリングのデータを積み重ねて生産者所得向上につなげたい」と話しました。



県産花きをPR

県知事に花束を贈呈

11月21日、静岡県花卉園芸組合連合会（事務局…野菜花卉課）と花咲くしずおかフラワーネットワーク会議は、県産のバラやガーベラ、カーネーションなどの花束を川勝平太静岡県知事と森貴志副知事に贈呈しました。11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、花き生産者と生花商組合などが連携し、県産花きの消費拡大をPRしました。

同連合会のばら部会大場宏基部会長、ガーベラ部会藤野行宏部会長、カーネーション部会山田弘志部会長と本会石川和弘常務理事らが県庁を訪れ、川勝知事と森副知事に花束を贈

りました。

同連合会の生産者は「資材価格が高騰しているが、県の補助制度などを活用し、今後もお客に喜ばれる花を生産していきたい」と話し、川勝知事は「資材価格高騰に対しては県も対応する。花を飾ることを県民運動にして、花を作る人も贈られた人も喜んでもらえるようにしたい」と答えました。



県産花き販売戦略を検討

令和4年度静岡県花卉販売対策会議

11月25日、野菜花卉課は、県農業会館で、令和4年度静岡県花卉販売対策会議を開催しました。県内各産地の花き生産者代表やJA、卸売会社ら約30人が参加し、令和4年度の本県花き販売目標金額を60億円とすることを確認しました。

会議では、本会より秋冬出荷計画・販売戦略書・資材価格高騰にかかる経営費の変化について説明した他、卸売会社から消費地動向と各社の取組が報告されました。

令和4年度花卉共通販売戦略では、生産者の持続可能な農業経営を支援するための販売対応の実践として次の取組を行うことを報告しました。



農家経営の現状について報告：①カーネーション部会山田部会長（JAふじ伊豆）、②ばら部会大場部会長（JA掛川市）、③輪菊部会鈴木部会長（JAとびあ浜松）、④ガーベラ部会藤野部会長（JAとびあ浜松）

- ・生産者、JA、県行政と一体となり、オンライン販売の実施などによる販売対策、SNSを活用した実需者向け情報発信の強化、マーケットイン品目導入に向けた産地体制の整備

- ・市場、実需者と一体となり、再生産価格を意識した価格交渉の実施などの販売強化やコロナ禍での販売促進活動の実施など消費宣伝活動

また、資材価格高騰における花き経営費の変化について、野菜花卉課の説明に加え会議に出席した静岡県花卉園芸組合連合会の各部会長より生産コスト上昇における農家経営の現状について報告し、卸売会社に対するコスト上昇について理解を求めました。



▲出荷計画と販売戦略の説明

スマート農業機械を展示・実演

JAスマート農業フェアを開催

11月30日、農業機械課は、吉田町の吉田公園西側特設会場で、「JAスマート農業フェア」を開催しました。前日の雨で足元が悪い中、来場目標人数500人を上回る609人が来場しました。

最新のICT農機の展示・実演・試乗を通し、組合員のスマート農業への意識を高め、農業の省力化・低コスト化につなげる提案をすることが目的。

フェアではメーカー8社が出展し、スマート農業機械の実機を展示・実演しました。メーカーの担当者は、自動操舵機能が付いたロボットトラクターに施肥作業機を組み合わせることで、ムラの無い耕うんと適正施肥を両立でき、小規模でも導入しやすいことを紹介。また、県内でも導入が進む、傾斜面などで安全に作業を行うことがで

きるラジコン草刈機や農薬などの



▲無人運転する田植機の実演



▲ラジコン草刈機の実演



▲スマート農業機械の説明を聞く来場者

散布に使われる農業用ドローンも実際の作業が実演され、多数の来場者が作業の様子を見学しました。

JA営農経済職員が相互研鑽

営農経済事業パワーアップ大会

10月19日、生産振興開発課は、県農業会館で営農経済事業パワーアップ大会を3年ぶりに実開催しました。営農経済渉外担当者（TAC）及び管理者、連合会職員ら関係者約80人が参加し県内外の優良事例などを参考に、TACによる「出向く活動強化運動」の重要性について研鑽を積みました。

大会は3部構成で行われ、第1部の商品提案会では、肥料・農薬・営農資材関連企業22社から省力化や価格高騰対策資材などの提案があり、参加者は企業担当者からの商品や技術説明に対し熱心に質問をしていました。

第2部の活動事例報告では、JA全農西日本営農資材事業所TAC・生産対策課より全国情勢報告とTAC活動の先進地事例として「継続訪問による低利用農家との関係構築とJA利用率向上（JA埼玉ひびきの）」、「JAの総合力を活かした経営支援



▲第1部 商品提案会（本会肥料農薬課ブース）



▲第3部 分科会



▲第2部 全国情勢報告とTAC活動先進地事例紹介（JA全農）

で産地を守る！（JA豊橋）」の取組内容報告を行いました。第3部の分科会では、参加者がグループに分かれ、各JAの出向く活動における課題や問題点を共有し、活発な情報交換を行いました。

産地と市場の連携による販売力強化 令和4年度系統経済事業研究委員会・流通懇談会

11月18日、みかん園芸部と企画管理部は、静岡市内で令和4年度系統経済事業研究委員会・流通懇談会を開き、県やJ A、卸売会社の役員ら約40人が出席しました。

県行政、県内J Aグループが一体となり、主要取引先とのパートナーシップを構築して販売力の強化を図るとともに、静岡県青果・柑橘・花き品の品質の良さを発信して消費拡大を進め、農家所得の向上を図ることが目的。

懇談会では、主催者としてJ A掛川市の塩澤勝義代表理事専務と本会加藤敦啓代表理事専務が挨拶し、本会石川和弘常務理事から県産農産物の販売取組と農機事業の取組を報告しました。また、みかん園芸部から令和4年度青果・柑橘・花卉秋冬出荷計画を報告し併せて資材価格高騰における経費の増加について市場と情

報共有しました。

令和4年度の本会青果・花卉販売戦略として販売目標金額青果321億円、花卉60億円とし、生産者の持続可能な農業経営を支援するための販売対応の実践として、主力品目を中心とした販売対策、新生活様式に即した販売促進活動、県行政と連携した事業実施、生産振興対策を掲げています。柑橘販売戦略として販売目標金額150億円とし、精度の高い出荷計画と厳選出荷による販売強化、静岡県産みかん消費拡大対策、安定した生産・出荷体制の確立、生産振興による生産力と面積拡大の推進を掲げています。



▲挨拶をする加藤専務



▲販売取組を報告する石川常務

産地の維持・強化と組合員の農業所得向上に向けて 営農経済センター長 研修会を開催

10月25日、本会とJ A静岡中央会は、県農業会館で令和4年度営農経済センター長研修会を開催し、県内7 J Aの営農経済センター長ら30人が出席しました。営農経済センターの管理者であるセンター長の役割を再確認し、各営農経済センターの取組や課題について情報交換を行うことが目的。

研修会では、中央会農政営農部より営農経済センター長の役割について、本会生産振興開発課より出向く活動の基本とマネジメントについて講義しました。また、J A山形市金融部の鈴木公俊次長を講師に招き、山形セルリー生産振興とブランド確立の取組事例が報告されました。参加者らは講義を受けた後、分散会を行い営農センター運営の課題と解決策などについて意見交換を行いました。



▲講義を行う生産振興開発課の若月敏明審査役

令和4年の収穫に感謝を捧げる 草薙神社新嘗祭・ 祈願祭で県産米を奉納

11月23日、食糧部は静岡市清水区の草薙神社で執り行われた新嘗祭に、令和4年度産米の収穫に感謝をささげるため県産コシヒカリを奉納しました。また、併せて開催した祈願祭において、奉納したお米と同じ県産コシヒカリを、自動車販売店を運営するトヨタユナイテッド静岡(株)とともに健康長寿、病傷平癒、合格祈願などを祈願しました。同社では受験生を対象に毎年、合格祈願のお守りなどを配布しており、毎年祈願祭を行う本会と今年初めて共同での開催となりました。

食糧部の坂口真澄部長は「今年度産の米の収穫に感謝をささげるとともに、新型コロナウイルス感染症の終息と経済安定、受験生の合格を祈願した」と話しました。

祈願を受けたお米は撤饌(てっせん)米として、同神社で頒布する他、本会の直営店「駿府の肉処 静岡そだち」で12月末まで提供します。



農林技術
研究所
だよりワサビ一代雑種(F₁)品種
「ふじみどり」の開発

私が紹介します！

静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター
わさび生産技術科 主任研究員

小高 宏樹

一 はじめに

ワサビの栽培は、四百年以上前に静岡市葵区有東木地区で始まったとされています。百二十年前の明治二五年には、伊豆地域で、「畳石式わさび田」と呼ばれるわさび田が開発されました。畳石式わさび田は、下層から大きな石、中くらいの石、小石、砂の順に層を積み重ねた構造をしており、わさび田の表層に水を掛け流しながら内部にも水を通し、栽培環境温度を一定に保つ働きをしています。ワサビの生育適温は気温十三〜十五度程度、水温十二〜十三度程度とされており、県内の山間部の冷涼な気候と豊富な湧水、そして機能的な構造を持つ畳石式のわさび田が、静岡県のワサビ栽培を支えてきたと考えられます。

静岡県の令和三年における水わさびの根茎生産量は、二二六・四トン、葉柄の生産量は百二六・五トン（林野庁特用林産基礎資料）で、根茎生産量、産出額、栽培面積ともに日本

一の、静岡県を代表する特産品です。また、静岡県の水わさび栽培は、平成二九年に日本農業遺産、平成三〇年には世界農業遺産に認定され、国内のみならず世界からも注目を集めています。

一方で県内の水わさびの根茎生産量は、平成初期のピーク時に比べると、約二六〇トンも減少しており、生産量減少の要因として、ワサビ苗の供給不足、下等田と呼ばれる栽培条件の悪いわさび田の存在、そして生産者の高齢化が挙げられます。ワサビ産地の維持発展には、これら課題の早期解決が求められています。

二 ワサビ苗の種類

静岡県内のワサビ苗は、年間で約二〇〇万本も不足しているとされており（平成二九年わさび生産技術科調べ）、その背景にはワサビ苗の増殖の難しさが挙げられます。

ワサビの苗は大きく分けて、種子から育苗する「実生苗」と株分けによる栄養繁殖苗があり、栄養繁殖苗には成長点を無菌培養して増殖する

表1 ワサビ苗の種類と現場での普及率

苗の概要	実生苗	メリクロン苗	二次増殖苗	分根苗 (分けつ苗)
	種子を播種して育成した苗	根茎の成長点を無菌培養して増殖した苗	メリクロン苗を苗床に仮植し、増殖した脇芽を苗として使用	根茎収穫時に根茎の根元に付いている分根
増殖率	高い	低い	低い	低い
コスト	やや安い	高い	やや高い	安い（ほぼ無料）
育苗期間	長い	長い	やや長い	短い（即定植可）
病気のリスク	やや低い	低い	やや低い	高い
生産現場での普及率 ²	55.2%	9.5%	17.2%	18.2%

²平成29年わさび生産技術科調べ

「メリクロン苗」、メリクロン苗を苗床に仮植して、増殖した脇芽を使用する「二次増殖苗」、根茎収穫時に得られる分根を植える「分根苗（分

けつ苗）」があります（表1）。品種特性などにより、苗の増殖しやすさやコスト面、病気のリスクなど、一長一短があるため、生産者は経営状況やわさび田の回転率を考慮しながら、苗を使い分けて栽培を行っています。



図1 定植後12ヶ月の根茎の様子

三 静岡県のワサビ品種の育種

わさび生産技術科では、これまでに「ふじだるま」や「あまぎみどり」といった栄養繁殖性品種を育成してきました。しかし、増殖面の効率や

コストを考慮し、近年では種子繁殖性で品質の良いワサビの育種に注力しており、平成二九年に種子繁殖性で根茎揃いのよい「伊づま」を育成し、品種登録を行いました。そして今回、種子繁殖性品種の「ふじみどり」(図1)を新たに育成し、令和四年六月に品種登録出願を行いました。

四 新品種「ふじみどり」の特徴

「ふじみどり」は、静岡県育成系統の「静系十三号」後代を種子親にし、同じく県育成品種「あまぎみどり」の自殖後代を花粉親にして交配した、一代雑種(F₁)品種です。種子繁殖性品種であるため、種子での大量増殖が可能となります。



図2 定植12ヶ月後の株の様子

表2 「ふじみどり」および「伊づま」の定植12ヶ月後の生育

栽培方法	品種	葉柄長 (cm)	全重 (g)	根茎長 (mm)	根茎重 (g)
露地	ふじみどり	53.4 a ^z	1158.9 a	90.9	44.9 c
	伊づま	48.3 b	607.5 b	105.9	54.9 bc
施設	ふじみどり	55.0 a	1243.0 a	110.0	69.1 ab
	伊づま	49.8 b	691.5 b	127.1	80.6 a
有意性 ^y		*	*	n.s.	*

^z 異符号間にはTukeyの多重検定により5%水準で有意差があることを示す

^y 分散分析によりn.s.は有意差なし、*は5%で有意差あり

当研究センターの試験わさび田の下等田において、「ふじみどり」と「伊づま」を定植し、生育の比較試験を行ったところ、定植十二ヶ月後の葉柄長および全重が「伊づま」よりも大きく、根茎長と根茎重は同程度の生育でした(表2、図2)。

下等田においても地上部の生育が優れた理由として、「ふじみどり」が一代雑種(F₁)品種であるため、

雑種強勢により生育が旺盛になったためと考えられます。根茎肥大性は「伊づま」と同等に優れており、地上部の生育も旺盛なことから、根茎だけでなく、加工原料としての利用も期待できます。また、調査員十三名による根茎の食味調査および外観調査を行ったところ、根茎の辛味、甘み、香気、粘りおよび表皮色の項目において、「伊づま」と同程度であり、すりおろし色はやや緑色に近い評価でした(図3)。これらのことから、「ふじみどり」は、生育と根茎品質のバランスを兼ね備えた、汎用性の高い品種であると言えます。

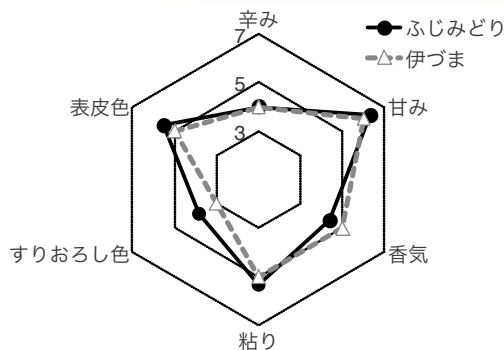


図3 食味^aおよび外観^b調査の結果

^a辛味、甘み、香気、粘りについて弱(3)～強(7)の5段階評価

^bすりおろし色、表皮色について淡緑(3)～濃緑(7)の5段階評価

五 「ふじみどり」の品種登録と今後の普及の予定

「ふじみどり」は令和四年六月に

品種登録出願を行い、同年九月に出願公表されました。今後は、栽培試験が実施され、類似する品種や系統との区別性を確認します。区別性が十分に確認されると、新しい品種として品種登録されます。ワサビは苗を定植してから根茎が肥大して収穫できるようになるまで、長いもので二年近くかかる作物であり、栽培試験に時間がかかるため、出願公表から品種登録まで、二年ほどかかる見込みです。

一方で出願公表されると、品種の育成者権の仮保護期間に入るため、品種登録前であっても新品種の販売や種苗の譲渡が可能となります。「ふじみどり」は「伊づま」と同様に、県内のワサビ生産者団体などと栽培の許諾契約を締結し、生産現場への普及を図る予定です。今後は、許諾契約締結後の円滑な種苗の供給と品種の普及に向けて準備を行うとともに、より詳細な栽培適地の調査などを行う予定です。

連絡先

伊豆市湯ヶ島二八六〇―二五
静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター
わさび生産技術科
Mail: agriwasabi@pref.shizuoka.jp

富士伊豆農業協同組合

富士宮地区 新店舗完成 農業資材専門店 「ふじのみや資材館」竣工式

11月10日、J A ふじ伊豆は、農業資材専門店「ふじのみや資材館」の竣工式を行いました。

神事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、鈴木正三代表理事組合長をはじめ、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。

新店舗は、富士宮地区ファーマーズマーケット「う宮～な」の西側敷地に建設を行いました。店舗オープンは令和5年1月21日です。

「ふじのみや資材館」は、鉄骨造平屋建、延床面積963㎡で、屋外にも売場を設け、駐車場は50台以上を整備しました。店舗内では、農業や園芸用の肥料農薬、小農具など各種豊富な農業資材が販売されます。

設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行いました。



▲建物外観写真



▲鈴木組合長玉串奉奠



▲鈴木組合長挨拶

【 営農ナビ 】 文字が大きく見やすくなってリニューアルしました！

あぐりんく静岡 からの お知らせ

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信12月号

経済連コンサルタントによる技術情報

柑橘果樹情報

茶園からみかん園への転換事例や栽培暦、柑橘誌の紹介を掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

県内
JA限定

生産・事業推進に
役立つ情報が満載!!

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

農業機械課からのお知らせ

農業機械課は、令和5年2月末までの期間限定で、冬のトラクター特別価格セールを開催し、JAがおすすめる商品を特別価格でご案内しています。さらに同時期には、農業機械を買って当てよう！静岡県特産物プレゼントキャンペーンも実施中です！本キャンペーンについてのお問い合わせは、本会農業機械課または、各JAの農機センターまで。

静岡県のJA・JA静岡経済連 組合員の皆様へ

冬のトラクター 特別価格セール

※限定台数がなくなり次第終了となりますのでご了承ください。 ※表示価格はすべて税込(10%)です。

期間中チラシ掲載のトラクターに限り、特別価格にてお問い合わせいただけます！

限定10台 コンパクトでパワフル **限定10台** **限定10台** 厳選された機能満載でみんなにうれしい低価格

FT240SPBMAQF5S 24馬力 メーカー希望小売価格 ¥2,633,400
JB18XSPBMAGRF3 18馬力 メーカー希望小売価格 ¥1,744,600
Z153XA1 15馬力 メーカー希望小売価格 ¥1,393,700

令和4年12月1日～令和5年2月28日

三菱農業機械 **限定5台** **限定5台** **限定10台** 他にも使いやすい上がりは美しく **限定5台** あなたの頼れる1台に。

GS182JS3 18馬力 メーカー希望小売価格 ¥2,129,600
GS252JS5V 25馬力 メーカー希望小売価格 ¥2,643,300
YT120.XUBS4 20馬力 メーカー希望小売価格 ¥2,454,100
YT225A.XUKS5P 25馬力 メーカー希望小売価格 ¥2,593,100

軽快な操作性で操縦者の意思に答える。

※特別価格についてはチラシに掲載された期間中のみとなります。

販売価格はJA農機センターへお問い合わせ下さい。

静岡県のJA・JA静岡経済連 組合員の皆様へ

農業機械を買って当てよう！ 静岡県特産物 プレゼント キャンペーン

JA農機センターにて対象の1点5万円(税込)以上商品ご購入のお客様

200名様に抽選で豪華特産物が当たる！

キャンペーン応募用紙にてお申し込みください。

キャンペーン期間 令和4年12月1日～令和5年2月28日

1 静岡そだち ロースステーキ 500g(個包装)

2 クラウンズロン 2玉(全400人)

3 日本酒 花の雫 (次時産、純米大吟醸) 各1本(全200人)

4 国産うなぎ長濱焼 (1箱50g×10個×3箱) 3箱(全100人)

5 伊豆下田産 金目鯛つくし (全長20cm以上×100g×10個×1箱) 1箱(全100人)

お問い合わせは、お近くのJA農機センターへ

※応募用紙にご記入の個人情報は当選者アポイントメント等のためにのみ使用いたします。 ※画像はイメージです。 ※当選者等は抽選の結果により決定いたします。

担当：生産資材部 農業機械課 (TEL：054-622-3455)

テレビ番組で県産農産物をPR

県産米をPR

「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

静岡県産米流通連絡協議会(事務局：食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

11月19日の放送では、お笑い芸人のフォーリンラブ・バービーさんが、藤枝市と焼津市から「金芽米」を紹介しました。「金芽米」は、JAおおいがわの「きぬむすめ」を最新技術で精米し美味しさと栄養素を兼ね備え、もちり食感と甘さが特徴。番組では、同JA高付加価値米研究会の村松哲彦会長がビデオメッセージで出演し「金芽米」をPRしました。

次回12月17日(土)の「しずおかごはんが食べたい！」は島田市と吉田町からオードリー・春日俊彰さんが紹介します。



▲JAおおいがわ「金芽米」を紹介

担当：食糧部 食糧課 (TEL：054-284-9737)

静岡県産温州みかん県下統一宣伝事業

1. 全国テレビ放送

「めざましテレビ」(フジテレビ)

同番組の人気コーナー「めざましじゃんけん」の週替わりプレゼントとして本県産みかんを紹介します。放送は、令和5年1月4日(水)～7日(土)予定となります。また、関東ローカルで平日のみとなりますが同番組内の7時台にコマーシャルを放送する予定です。

2. 静岡県内テレビ放送

「ただいま！テレビ」(テレビ静岡)

毎週月～金曜日の夕方4時50分から放送している「ただいま！テレビ」でパーソナリティの高橋正純さんがJAとびあ浜松管内生産者を訪れ、生産者の思いや県産みかんの魅力を紹介しします。12月20日(火)と21日(水)の2日に渡り放送します。

「チョット！いいタイム」(テレビ静岡)

12月9日(金)に放送された「チョット！いいタイム」にてJAみっかび管内生産者を訪ね、県産みかんの取材と紹介を行いました。



▲「チョット！いいタイム」の撮影

担当：みかん園芸部 柑橘果樹課 (TEL：054-284-9912)

県下JAグループ統一企画

地域・組合員の皆様へ



JA-SS 笑顔満タン! あったか灯油キャンペーン

実施期間
(レシート有効期間)

2022年11月1日(火)

2023年1月31日(火)

JA-SSで灯油をご購入のお客様に

毎回75名 合計150名様

おいしいものが合計150名様 毎回75名様×2回 に当たる!!

チャンスは
2回!!

2022年11月1日(火)～2023年1月31日(火)に、静岡県下JA-SSで灯油36ℓ以上をご購入していただいたレシートを1口とし、ご応募いただくと、抽選で素敵な賞品が当たります。※一部実施していないJA-SSがあります。

牛
コース



静岡そだち
(肩ロースすきやき用400g)

合計50名様
毎回25名様×2回

魚
コース



金目鯛
煮つけセット

合計50名様
毎回25名様×2回

スイーツ
コース



やさしい
あいすくりーむ
(6種12個セット)

合計50名様
毎回25名様×2回

キャンペーン期間(レシート有効期間)

2022年 11月1日(火) ▶ 2023年 1月31日(火)

応募締切日
(事務局到着分)

第1回：2023年 1月6日(金)
第2回：2023年 2月7日(火)

スマートフォン
からのご応募は
コチラへ。



※写真はイメージです。 ※プレゼントは、景品表示法に基づき、実施致します。

担当：くらし支援部 総合エネルギー課 (TEL：054-284-9529)

